

モデル建物法入力支援ツール 変更点 ( Ver. 2.3.3 → Ver. 2.4.0 )

以下の変更を行いました。

- 1) プログラムの使用許諾条件の変更。
- 2) 「再出力」用にサーバーに保存する PDF ファイルから、入力責任者、建物名称、建物所在地に関する情報を削除。
  - 「出力」ボタンを押して PDF を生成する場合は、従来どおり、これらの情報も含めて印字されます。「出力」実行時に、そのコピーをサーバー内に保存する処理をしていますが、その際にこれらの情報を削除する処理を加えました（サーバー内で保持するデータから個人情報を削除）。「再出力」機能で再出力した PDF は、入力責任者、建物名称、建物所在地の欄は空白になります。なお、この処理は、Ver.2.4.0 以降のプログラムで「様式出力」をした計算結果に対してのみ有効です。
- 3) 複数用途集計ツールによる集計結果を再出力する機能を追加（集計結果に XML-ID と再出力コードが印字されます。再出力自体は、モデル建物法入力支援ツールの「再出力」ボタンから行います）。
- 4) 空気調和設備の計算において、熱源機種「地域熱供給」を選択した場合に、デフォルト値（1.36）以外の一次エネルギー換算係数によりエネルギー消費性能の評価が行えるように変更。
- 5) 複数用途集計ツールにおいて、既存部分の評価方法を変更（既存部分の床面積と増改築部分の床面積をそれぞれ入力するように変更）。
- 6) 様式 B-3「建具等個数」が空欄だと予期せぬエラーになる問題を解消。
- 7) 様式出力時において、様式 A の「日付」が数値（43010 等）になる場合がある問題を解消。
- 8) 様式出力時において、入力シートの印字部分に不要な空白行が多数印字される場合がある問題を解消。
- 9) 入力シートの「入力確認欄」における「※変更の有無」の計算式（変更前を分母として割合を計算）を変更。

以 上